



第1グループ（滋賀、福井、全国）のデモ（先頭左が筆者）

園で開催された。近畿・福井・名古屋や全国の原発現地から駆け付けた市民・労働者1600名が参加し、34万円を超える会場カンパも寄せられた。

司会は、反原発自治体議員・市民連盟関西の二木洋子さん。

主催者を代表して明通寺住職の中島哲演さんが、「40年越えの高浜原発1、2号機と美浜原発3号機を何としても延命阻止し、福島島の惨禍を繰り返さず、後から来る可愛い者たちのためにも、老朽炉

コロナ、酷暑、台風接近を乗り越え、9月6日、「老朽原発うごかすな！大阪集会」が大阪市内うつぽ公

老朽原発うごかすな！と
大阪集会1600名参加

老朽原発
うごかすな！
ニュース

第13号

発行・老朽原発うごかすな！
大阪集会 in おおさか実行委員会

〔連絡先〕
090-1965-7102

の廃炉と原発ゼロの社会をめざそう」と力のこもった挨拶をされた。

続いて木原壮林さん（9・6大集会実行委員会）から、「老朽原発廃炉を突破口に原発全廃を勝ち取ろう」と提起。「原発は、事故確率の高さ、事故被害の深刻さ、事故処理や使用済み核燃料処分などの困難さなど、現在科学技術で制御できる装置でないことを、福島原発事故が大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増します」それなのに関電は美浜3号機を来年1月に、高浜1号機を同じく3月に再稼働強行しようとするというとし、相次ぐ不祥事を逆手に再稼働阻止、人の命と尊厳が大切にされる社会をめざそうと訴えた。

関電マネーを告発する会の

末田一秀さんからは「3371人の人が裁判を起こしている。原発はヤミの金がないと動かないということがハッキリした」と訴え。40年廃炉名古屋訴訟市民の会・草地妙子さんは、「原子炉容器片の原データについて、規制委員会は関電は品質保証があるから大丈夫だと正式に評価せず合格を出していた」と告発。福井原発訴訟（滋賀）井戸謙一弁護士からは、「原発安全神話は二つある。一つは、規制委員会は世界最高水準である。もう一つは、甲状腺癌200人の発生や、全国に汚染土はばらまくという。いかに杜撰で間違っているか」と報告された。

続いて老朽原発の地元から、東海第2原発周辺住民からも含め訴えを受けた後に、カンパの訴えが9・6大集会実行委員会・会計の橋田秀美さんから力強くなされた。7年続いている若狭での「アメンバーデモ」での地元の声を木戸恵子さんから、原発賠償関西訴訟原告団、全国の原発現地からの参加者自己紹介、関西各

府県の市民団体の決意表明が続き、「1450万人の命の水源・びわこを守る」と原発のない社会へ2020びわこ集会実行委員会の畑明郎さんが発言した。400回を超える関金行動を継続する脱原発はりまアクションの菅野逸雄さんも報告した。

そして、フォーラム平和・人権・環境と全労連近畿ネットワーク、おおさかユニオンネットワークという労働3団体が勢ぞろいし、それぞれの代表挨拶を受け、集会決議提案・採択の後、全参加者の「老朽原



会場に広がった「老朽原発うごかすな」のポテッカード

発うごかすな！」のいつせいポテッカード掲示で集会を締めくくった。

ある参加者は、「活気と暖かさのある、良い集会でした。デモの最後に大雨に遭い、電車に乗るのが申し訳ないくらいびしょびしょになりましたが、最後まで、元気にコールして、町行く方々に思いを届けることができたと思います。発信の大切さ、今日もいっぱい感じました」。現在、実稼働中の原発は僅かに2〜3基。酷暑の中でも電気不足になっ

ていないことは、原発が無くて電力は足りていることを証明しています。」と。コロナ蔓延で1万人超参加の達成は今後の課題となったが、集会後の大阪御堂筋1時間半のデモは、後半灼熱の太陽が一転して、台風の影響による土砂降りに見舞われ、歴史に残る想いで深い取り組みとなった。大弾圧と闘っている連帯ユニオン関生の沢山の旗が、ひととき見事に風になびいていたのが印象的だった。

この日、滋賀県内では堅田駅前と彦根の繁華街で集会連

帯のスタンディングアピールが行われ、10月7日には第89回脱原発市民ウォークイン滋賀と10月24日の「老朽原発うごかすな！滋賀講演会」も9・6おおさかに連帯して開かれる。

関西電力に原発を動かす資格はない！

「9・6老朽原発うごかすな！大集会」でおおさか」は、数々の困難を跳ね返しての集会でした。まず、当初準備していた「5・17集会」がコロナで変更を余儀なくされるところからの再出発であり、よく言われる「集会は開催するより、中止の方が難しい」だったと思います。実行委員会の皆さんの努力に敬意を表します。

関電の政・財・官への現ナマ工作は常態化

昨年9月発覚の関電幹部の原発マネー疑惑は、内部告発

(さいなら原発・びわこ ネットワーク 稲村守)
【「さいなら原発・びわこネットワーク」ニュース43号より転載。一部、省略。】

でやつと表に出たもの。関電設置の第3者委員会発表(今年3月)では、収賄は75人に計3億6千万円以上にも上り、最高1億以上の現金から菓子箱の中に小判、一着50万円のスーツ等々。地元自治体などへの金権癒着は、30年前からとも判明。

福島の子どもの命を守ることは、私たち大人の責任

兵庫の活動と今日の集会の事です。昨年11月初めから、12月8日の関電包囲大集会



発言する菅野さん(中央右)と兵庫のみなさん

の協力とと思っています。この集会を機に、更に市民運動と立憲政党のつながりが深まればと考えています。私たちが活動です。2012年夏から始めた「関電姫路支店」への毎週金曜日抗議行動400回、私の地元加古川での「福島原発事故を忘れない毎月11日行動」も100回に。私たちは常に「福島原発事故を忘れない」を胸に活動し、福島の子どものいのちと健康を守る事は、私たちの責任と思ひ、街頭や集会での福島の子ども支援カンパを訴えて来た。8月末計177万円となり、毎月福島の子どもキャンプ支援に送っている。

に合せて「姫路から関電大阪本店」への「老朽原発うごかすなリレーデモ」は、9日間で延500名が94kmを歩き通した。このデモは、兵庫の「こわすな憲法！いのちくらし！市民デモHYOGO(43の市民団体加入)」の力と共に、今日の集会にも参加してくれている、社民党、共産党、緑の党、新社会党等

菅野逸雄